

Christmas Organ Concert 2015

クリスマス・オルガンコンサート



敬虔な祈りは音楽となって羽ばたく。

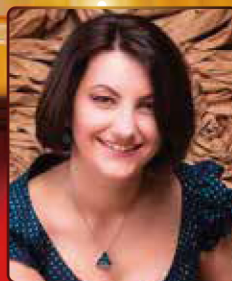
ベルギー出身のオルガニストとウクライナのソプラノ歌手が登場。

世界のクリスマス・キャロル、J.S.バッハ『トッカータとフーガ ニ短調』、
シューベルトの『アヴェ・マリア』を初めとしたクリスマス・オルガンコンサートの定番に加え、
チャイコフスキーの『くるみ割り人形』から「金平糖の踊り」「あしぶえの踊り」や
「花のワルツ」などクリスマスらしいクラシックの名曲をオルガン版にアレンジ、
パイプオルガンの醍醐味を十分にお楽しみください。



オルガン (Organ)

ジャン=フィリップ・メルカールト
Jean-Philippe Merchaert



ソプラノ (Soprano)

イワンナ・プリッシュ
Ivanna Plish



ゲストソプラノ (Guest Soprano)

辰巳真理恵
Marie Tatsumi

2015 12/23 (水・祝) 12:00開演/16:00開演

いずみホール

全席指定 ¥5,000 (消費税込)

◎主催: utv
◎協賛: いずみホール
◎企画協力: テンポプリモ

チケット発売日
10/3 (土)
10:00am

チケット前売所

◎チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:]
◎ローソンチケット 0570-08-4005 [Lコード:] 0570-00-0407 (10:00~20:00 オペレーター対応)
◎CNプレイガイド 0570-08-9999 ◎e+(イープラス) <http://eplus.jp>
◎阪神プレイガイド ◎いずみホールチケットセンター 06-6944-1188

お問合せ (10:00~18:00)

リバティ・コンサーツ 06-7732-8771

※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

KYODO

Christmas Organ Concert 2015 クリスマス・オルガンコンサート

クリスマスにお洒落な音楽のプレゼント。

欧米の祝日の中でも、クリスマスほど歴史的、伝統的で重要な行事はありません。キリスト降誕の日であることから、世界中のクリスチャンたちは、聖書、聞き語り、劇、華やかな飾り、そしてもちろん音楽を通してキリストがこの世に遣わされた物語を繰り返し伝え合い、賛美し、盛大に祝います。そんな偉大な出来事を象徴する言葉…天使。賢者。羊飼。聖なる家族と共にいる幼いイエス。星。光。救い。…などがたくさん盛り込まれたクリスマスの音楽。今年のいずみホール「クリスマス・オルガンコンサート」は、ベルギー出身のオルガニストとウクライナ出身のソプラノを招き、クリスマスにふさわしい音楽をたっぷりとお届けいたします。パイプオルガンの華麗な音色の中で、大人のためのクリスマス。都会の喧騒からひととき離れ、いずみホール一杯に広がる荘厳な響きに耳を傾けてみませんか？

PROGRAM 演奏予定曲目

J.S.バッハ：トッカータとフーガ ニ短調 BWV565

J.S.バッハ：主よ人の望みの喜びよ BWV147

L.ルツィ：「アヴェ・マリア」♥

C.M.ヴィドール：オルガン交響曲第5番よりアレグロ・ヴィヴァーチェ

フランク：パストラール

クリスマスソング メドレー ♥

L.ハーライン：星に願いを ♥

…………… Intermission ……………

J.S.バッハ/C.グノー：アヴェ・マリア ★

S.ラフマニノフ：ヴォカリーズ ★

L.C.ダカン：異国風のノエル

F.シューベルト：アヴェ・マリア ★

G.ヘンデル：「オンブラ・マイ・フ」(歌劇『セルセ』より) ★

P.I.チャイコフスキー：くるみ割り人形より

『金平糖の踊り』『中国の踊り』

『あしぶえの踊り』『花のワルツ』

G.カッチーニ：アヴェ・マリア ★

もろびとこぞりて ★

(★印の曲はオルガン+イワンナ・プリシュ、♥印はオルガン+辰巳真理恵、無印はオルガン+ソロ)

※都合により演奏曲目が変更になる場合がございます。ご了承下さい。

ジャン＝フィリップ・メルカールト [オルガン]

Jean-Philippe Merckaert (Organ)

ベルギー生まれ。パリ国立高等音楽院でオルガンをオリヴィエ・ラトリー、ミシェル・ブヴァールに師事し、2005年プルミエ・プリを得て卒業。ベルギーではブリュッセルのベルギー王立音楽院にてジャン・フェラーにオルガンを師事し、2008年修士号を取得。モンス王立音楽院にてクラシック作曲法を学び、2007年修士号を取得。同年、フライベルクにおけるジルバーマン国際オルガンコンクール第2位、2009年、ブルージュ国際古楽コンクールオルガン部門第2位受賞。2003年から1年間札幌コンサートホールKitara専属オルガニスト、2011～14年まで所沢市民文化センター ミュースホールオルガニストを務めた。現在、那須野が原ハーモニーホールオルガニスト、聖グレゴリオの家宗教音楽研究所講師、片倉キリストの教会オルガン教室講師。近年、オーケストラ曲の編曲にも力を入れており、様々な演奏会で好評を得ている。2012年にはスイスで録音したCD「ヨハン・ゼバステアン・バッハ ライプツィヒ手稿からのコラル集」(2枚組)をリリースした。



イワンナ・プリシュ [ソプラノ]

Ivanna Plish (Soprano)

1979年、ウクライナのルーツィク生まれ。地元の芸術大学を卒業後ウクライナ国立キエフ音楽院に入学し声楽と合唱指揮を学ぶ。在学中より数々のコンクールにて受賞、キエフ国立フィルハーモニー交響楽団、ウクライナ国立室内管弦楽団、キエフ国立交響楽団など国内のオーケストラに次々と客演。同国を代表する指揮者ロマン・コフマン、ニコライ・ジャジュラ等の薫陶を受けた。このほか、国立アカデミー合唱団「Dumka」のソリストを務めるほか、キエフ・ミュージック・フェスト、モスクワ・イスター音楽祭(ロシア)、ドイツ・ロッテンブルグ宗教音楽祭、サン・ロー音楽祭(フランス)など世界各国の芸術祭に招聘されている。現在はキエフ国立歌劇場のソリストとして活躍しており、ヴェルディ作曲「椿姫」ヴィオレッタ役、ロッシニ作曲「セヴィリアの理髪師」ロジーナ役をはじめ同歌劇場の主要演目にて主役を務めるほか、ベートーヴェン「第九」、モーツァルト「レクイエム」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」等のソリストを務めるなど活躍している。



辰巳真理恵 [ソプラノ]

Marie Tatsumi (Soprano)

高校2年の春、父・辰巳琢郎の出演する宮本亜門演出ミュージカル『キャンディード』に出会い、医学部志望から音大生志望へと180度の方向転換を決行する。



日本女子大学附属中学・高校卒、東京音楽大学声楽科卒業。同大学大学院修士課程声楽専攻独唱研究領域修了、二期会オペラ研修所第58期。現在イタリアにて研修中。「魔笛」パパゲーナ、「MABOROSI～オペラ源氏物語」三の宮、「ラ・ボエム」ムゼッタ役等にてオペラに出演する他、コンサート、TV、演劇等への出演も精力的にこなしている。声楽を三林輝夫、林ひろみ、釜祐祐子、小森輝彦、ヨーコ・タケダ・ヴァサレの各氏に師事。

いずみホールのパイプオルガンは、どんな楽器？

いずみホールのパイプオルガンは、やわらかな音色が特長の、フランス・ケーニヒ社製です。

ストップ(ノブ) : 46	コンビネーション操作ボタン他	足鍵盤 : 1段	幅 : 3.6m
手鍵盤 : 4段	エクスプレッションペダル	高さ : 10m	パイプ数 : 3623本

オルガンは、その大きさ、造形美、荘厳な響きから「楽器の王様」とも「女王様」とも言われています。異なった形、材質でできたパイプがあり、その長さは8ミリから5メートルにまで及びます。それらに風を送って、音を鳴らします。幅広い音域と様々な音色が生まれるのは、こうしたバラエティに富んだパイプがあるからです。

いずみホールのオルガンには手鍵盤が4段、足鍵盤が1段あります。それぞれの鍵盤にあわせて、3623本もの専用パイプがオルガン本体の中に組まれています。専用のパイプは音色別に分れており、46種類の「ストップ(音栓)」と呼ばれるノブで操作します。また複数の鍵盤があるので、両手を別々に使って違った音色で弾くこともできますし、1つの鍵盤から違う鍵盤に移って、即座に音色を変えることもできます。足鍵盤は主に低音に使われます。

第3鍵盤は、よろい戸の付いた箱に入っていて、それを開閉することにより音に強弱がつけられます。また、ストップの組み合わせをメモリーに記憶させておいて、演奏中にコンビネーション操作ボタンで自在に変えることもできます。

オルガンは、たった一人で操ることのできるオーケストラと言えるでしょう。オルガニストの役目は、この複雑な楽器を操って、表情豊かな音楽を皆さまにお届けすることなのです。

<いずみホールホームページより転載>